

☆インフォメーション☆



図書館イベント リクエスト投票

文化祭古本市の売上金で
図書館の本を購入します。
買って欲しい本があれば、
投票してください。

応募期間：10/20(土)まで
図書館北-機横の「図書館POST」へ
投票用紙もそこにあります。

①英語多読キャンペーン☆

【期間：10/1~11/30】

多読リーディングマラソン 4219語を読み切ろう!

フルマラソン42.195km⇒4219語でゴール♪
(10語=1m換算)

*24頁×5冊程度でも達成可能(読書量 約40分)

易しいレベルからチャレンジ

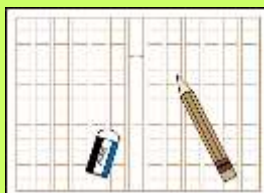
はじめるなら、今がチャンス!

☆完走者特典!☆

輸入菓子 抽選で10名に進呈

高3生 必見!

レポートや小論文を書くなら、
図書館「小論文対策コーナー」
(情報提供：駿台予備学校)をご利用ください。
本探し、テーマやキーワードの洗い出し等の
サポートをいたします。



いつかは、何者かになる君たち。
世の中には、数限りない仕事が存在するよ。



仕事によって
自分が育てられ
人生が彩られていく。
自分の未来を想像してみませんか?



女性が選んだ情熱のお仕事、15職種



「ふむふむ おしえて、お仕事！」

三浦しをん/新潮文庫

靴職人、コーディネーター、フィギュア企画開発など、普段は話が聞けないニッチな仕事に潜入インタビュー。好きなことに情熱を持って技術を育んだ女性の話の聞いてると、情熱が仕事と自分を育てるんだなと感じる。妄想炸裂作家が著者だけに、キレいいのツッコミと無限妄想がいっぱい味をだして、苦笑しながら社会見学できる。

鉄道につながる様々な業務 女性の活躍も!



「鉄道員になるには」

土屋武之/ペリかん社

「なるには BOOKS シリーズ」

鉄道員の仕事は幅広く、今では男女の区別もありません。列車運行に携わる職種だけでなく、総合職や線路の保守点検をする保線係など、様々な職種があります。身近な業界の鉄道の世界。さまざまな鉄道員の姿を現場リポートしてくれます。

※このシリーズは、100種を超える職業について、従業者のレボや、なるための進学ガイド、就職についてまで詳しく一冊の本にまとめられています。

国連って響きがカッコいい! どんなところ?



「パリの国連で夢を食う。」

川内有緒/イースト・プレス

絵に描いたような才女かと思っていたら、予想外の日大芸術学部放送学科出身の人。なんで国連職員? たまたま転職したい気分だった二年前に応募した国連のあるポジションに応募したからだ。忘れた頃になってパリに面接に来いと。冗談みたいな話だが、なんとか調整して適応する著者のド根性に、気分がスカッと。イメージ通りのルートでなくても、自分の興味のあることに齧り付き、粘ってみる! そこから何か

が生まれる! 意外とユルイ? ゆとり? 国連の職場の様子もわかって面白い。(以上 千葉)

仕事は選ぶよりも続ける方が難しい。



「牛を屠る」佐川光晴/双葉社

『おれのおばさん』シリーズ(図書館全巻所蔵)の作家、佐川光晴氏は、作家になる前、10年半を屠殺場(食肉解体処理場)で働いていた。北大法学部出身の作者がなぜ屠殺場で働くことに? どのような経緯で作家に? 世間の差別偏見もスルーして、ひたすらナイフを研ぎ牛

や豚を捌き続ける職人達の、誇りを持った熱い生き様が伝わってくる。これから将来を模索していく若者達にぜひとも読んでほしい一冊!

あなたは、タイトルの質問に答えられるか!?



「大人はどうして働くの?」

宮本恵理子(編・著)/日経BP社

「大人はどうして働くの?」という子どもからの質問に様々な分野で活躍中の識者7人が答える。前半は子ども向けに平易な言葉、文章で、後半は大人向けに同内容が語られる。働く意味まで考えて進路を決めている高校生は少ないかもしれないけれど、進学・就職が決まらずにゴールではないとわかってほしい。みんなの人生は先が長い。長く続けられる、やりがいのある、誰かのお役に立てる仕事を見つけて!

同時通訳の舞台裏が明かされる!?



「同時通訳はやめられない」

袖川裕美/平凡社

北朝鮮非核問題や米中貿易摩擦など、毎日のニュース等で活躍中の同時通訳者はカッコいい! しかし現実、欠かせない事前の勉強、のしかかるプレッシャー、瞬間的に襲われる健忘症など厳しい。オバマ前米大統領の広島演説など、第一線で活躍する著者が日々の格闘をユーモラスに描く。同時通訳は、日々技を磨く職人とアスリートを合わせたような職業だと著者は言う。つまるところどんな職についても謙虚な気持ちを持ち勉強し続けないとダメなのだ。(以上 田中)



どんな仕事か知ってました?

「わたしはコンシェルジュ」

阿部 佳/講談社文庫

日本に「コンシェルジュ」という言葉を広め、根付かせた著者がサービスのプロであるコンシェルジュの仕事について紹介。海外ではおなじみのこの仕事だが、日本でお世話になったことがある人は少ないのではないだろうか? お客様のばくぜんとした要望を、限られた質問内容からイメージし、的確で具体的な解答を提示するという仕事のやり方は、多くのサービス業に共通するだろう。

「こんな考えもあるよ。」ということ...



「専業主婦は2億円損をする」

橋本 玲/マガジハウス

思わず手に取ってしまうキャッチーなタイトルですが、2億円というのは大卒女子が60歳まで働いた平均生涯年収なんだそうだ。少々強引な内容も多いので鵜呑みは危険だが、自分の親世代とは状況が変わってしまった現代においては「専業主婦は損」というより「働いた方が得」なんだなあという一い感で読んでみて下さい。

K.m.p.の意味を知り思わず笑ってしまいました。



「みえない未来相談室。」

すきなコトを仕事にする方法

K.m.p./河出書房新社

「14歳の世渡り術」シリーズの1冊ですが、将来に悩む中学生はもちろん、働くことに悩む全ての人に是非読んで欲しい。「好きなことをやる」から「好きなことを仕事にする」までの苦悩や道のりを、ほんわかしたイラストとともに綴ったこの本は、「将来が見えなくて当たり前。見えてる人なんていない。」ということをかきと教えてくれるはず。(以上 梅谷)

告知! 古雑誌・古英字新聞 提供します

期間 10/15~30

場所 図書館玄関ホール

※雑誌は一人一日一冊まで。